

# ヤンバルクイナを交通事故から守ろう!

毎年、4月から6月にかけて、ヤンバルクイナのロードキル(交通事故死)が多発しています。やんばる地域では小動物などに気をつけて、安全運転をお願いします。



## ロードキル防止の取り組み

平成十六年六月に、国、県、地元自治体、道路管理者、自然保護団体などの二十二の機関からなる「やんばる地域ロードキル発生防止に関する連絡会議」が設置され、お互いに協力しながら様々な対策を実施しています。

その一つとして、毎年四月から六月を「ヤンバルクイナ交通事故防止キャンペーン」月間とし、各機関が協力して道の駅などでチラシの配布などを行っています。そのほか、ロードキル多発地点では、注意を呼びかける看板の設置、路肩の草刈り、側溝に落ちたヒナや小動物を脱出させるためのスロープの設置など、道路環境の改善やポスターによる広報なども行っています。

## ロードキル防止に協力を

この時期、やんばるの森は新緑に輝き、鮮やかな景観を見せています。道路を利用する際には小動物などに十分注意し、車の減速を行うなど、ロードキル防止へのご協力を願います。

私たちの大切な財産であるやんばるの豊かな自然を、未来へと引き継げるよう、みんなできっちり守っていきましょう。



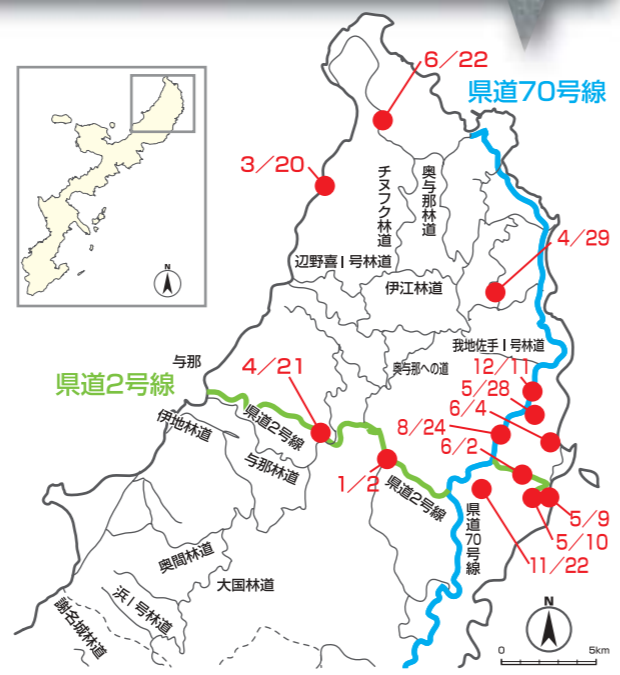
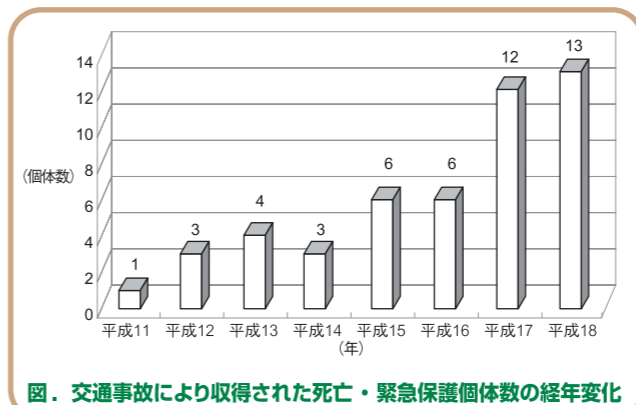
## 絶滅の危機にあるヤンバルクイナ

沖縄本島の北部地域は、「やんばるの森」と呼ばれ、イタジイなどの照葉樹林におおわれる豊かな森が形成されています。そこにはヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ヤンバルテナゴコガネなど多くの希少種、固有種が生息しています。

なかでも、ヤンバルクイナは昭和五十六年に新種として発見された国内で唯一の飛べないクイナですが、最近では、個体数が減り続け、絶滅の危機に面しています。昭和六十一年の環境庁の調査で約千八百羽と推定された個体数は、平成十七年の山階鳥類研究所の調査報告では約七百二十羽と、前回の調査の半数以下になっていると推定されています。県、環境省、NPOなどでは、ヤンバルクイナを守るため、生息調査、保護増殖事業、救護事業を実施しています。また、マングースが生息域を拡大することに伴いヤンバルクイナの生存を脅かしていることから、その駆除などの外来種対策を行っています。

## 四月から六月にヤンバルクイナのロードキルが多発

ヤンバルクイナは、三月下旬から六月にかけて産卵・子育てをするため、この時期になるとえさを求めて活動が活発になり、道路上に出現します。そのためにヤンバルクイナのロードキルが県道二号線や県道七号線などで平成十六年に六件、平成十七年に十二件、平成十八年に十三件発生しており、その防止対策が急がれています。



**メジロを捕らないで!**  
野生鳥獣は許可等なく捕獲できません。

沖縄県自然保護課

- メジロの捕獲は原則禁止ですが、愛がんを目的とする場合は特別に一世帯につき一羽のみ捕獲・飼養を許可します。
  - 違法な捕獲は一年以下の懲役又は百万円以下の罰金です。
- 詳しいことは県自然保護課又は各市町村まで(那覇市を除く)